

全農杯 全日本卓球選手権(ホープス・カブ・バンビの部) 県予選会の結果について

5月2日(祝)、川崎市多摩スポーツセンターで、神奈川県卓球協会および川崎卓球協会主催による「全農杯 全日本卓球選手権(ホープス・カブ・バンビの部)神奈川県予選会」が開催された。ホープスの部(6年生以下)43名、カブの部(4年生以下)22名、バンビの部(2年生以下)17名、計82名の小学生がリーグ戦を行った。



ホープスの部(男子)受賞者



ホープスの部(女子)受賞者

全農かながわは、各部男女別の1位から4位入賞の選手24名に「県産米キヌヒカリ20キロ」「秦野総合工場の国産乾麺詰め合わせ」「神奈川県産みかん畑(飲料)」などの賞品を贈り、健闘をたたえた。全農かながわ県本部は、スポーツをする子供達の健やかな成長を国産農畜産物で応援している。

同予選会での上位選手らは、2015年7月24日(金)～26日(日)にかけて神戸総合運動公園内体育館(グリーンアリーナ神戸)で開催される本大会に出場する。



カブの部(男子)受賞者



「全農杯平成26年全日本卓球選手権大会」(ホープス・カブ・バンビの部)では、藤沢市「岸田クラブ」所属の長崎美柚(みゆう)選手がホープスの部(女子)で優勝した。バンビ(小学2年生以下)、カブ(小学4年生以下)、ホープス(小学6年生以下)の3部門制覇は福原愛選手以来のため、2020年東京オリンピック出場への期待がかかる。現在、長崎選手はJOCエリートアカデミーで練習に励んでいるという事だった。今年度の神奈川県予選会で受賞した同クラブ所属者らは、「長崎選手に続け」と週6日の練習に励んでおり、中には自宅に練習場を持つ人も。

神奈川県卓球協会の関係者によれば、神奈川県内の卓球人口は全国的にも多く、特に家庭婦人の占め

る割合も多いとの事だった。選手登録をせずに参加できる「オープン戦」が、市や地区単位で頻繁に開催されており、また試合は年代別に行われるため、幅広い年代で試合参加が可能だ。「使う用具が軽くて肘に負担がかかりにくい。室内スポーツのため天候に左右されない。ボールの素早い動きを目で追うので、頭脳も使う。生涯スポーツに最適です」と県卓球協会関係者は話している。



バンビの部（男子）受賞者



バンビの部（女子）受賞者